

1 科目名 (教科)	化学基礎	6 教科書名	
2 講座名	化学基礎 (理科)	高等学校 化学基礎 (啓林館)	
3 開講学年	1	7 使用教材	
4 履修区分	必修	サンダイヤル 化学基礎の基本マスター (啓林館)	
5 単位数	2		

1 科目の目標・学習内容

日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。
--

2 評価の観点・方法

評価の観点		観点の趣旨	具体的な評価方法
【知】	知識・技能	・化学基礎を理解するうえで必要な語句や現象を覚え、理解している。 ・実験の正しい操作を理解している。	・小テスト、単元テスト ・課題プリント ・実験・実験レポート
【思】	思考・判断・表現	・化学の基本的な概念や原理・事物の現象のしくみについて理解したものを、応用して活用できる。 ・身近な事象と関連づけて考えることができる。 ・図やグラフを正しく読みとることができる。 ・実験結果などをレポート形式でまとめることができる。	・小テスト、単元テスト ・課題プリント ・実験・実験レポート ・ノート
【態】	主体的に学習に取り組む態度	・化学的な事象について関心を持ち、探究心をもって学ぶことができる。 ・自ら疑問をもって、その解決に向けた姿勢がとられている。	・課題プリント ・実験・実験レポート ・ノート ・グループ発表

3 学習計画

月	単元名	学習内容	時間	到達目標	観点別	評価方法
4	序章 化学の特徴	・身近な物質を調べる ・探究の進め方 ・化学の特徴	2	(1)化学に関する語句や現象を理解している。 (2)化学的な事象について関心を持ち、探究心をもって学ぶことができる。	【知】 【態】	小テスト ノート 課題プリント 問題集
5	第1部物質の構成 第1章 物質の構成	純物質と混合物 ・混合物の分離・精製 物質とその成分 ・成分元素の検出 粒子の熱運動と物質の三態	5	(1)化学に関する語句や現象を理解している。 (2)化学の基本的な概念や原理・事物の現象のしくみについて理解したものを、応用して活用できる。 (3)演習や観察、実験を意欲的に取り組みことができる。	【知】 【思】 【態】	小テスト ノート 課題プリント 問題集 実験・実験レポート
	第2章 物質の構成 粒子	原子の構造と電子配置 イオン	6	(1)化学に関する語句や現象を理解している。 (2)理解した内容を応用して活用できる。	【知】 【思】	小テスト ノート 課題プリント 問題集

		元素の周期表		(3)化学的な事象について関心を持ち、探究心をもって学ぶことができる。	【態】	実験・実験レポート
6	第3章 化学結合	イオン結合 共有結合	13	(1)化学に関する語句や現象を理解している。 (2)結合のしくみについて理解した内容を応用して活用、表現ができる。 (3)演習や観察、実験を意欲的に取り組みことができる。	【知】 【思】 【態】	小テスト ノート 課題プリント 問題集 実験・実験レポート 期末考査
7						
8		金属結合				
9		物質の分類と融点				
10	第2部 物質の変化 第1章 物質量と化学反応式	原子量・分子量・式量 物質量(mol) 溶液と濃度 化学反応式と化学反応式の量的関係 ・反応式の係数が表す量的関係	14	(1)化学に関する語句や現象を理解している。 (2)目的に応じた定量的な計算ができる。 (3)化学反応式のしくみを理解し、活用できる。 (4)定性的・定量的な内容を使い分け、問題解決に向かって意欲的に取り組むことができる。 (5)演習や観察、実験を意欲的に取り組みことができる。	【知】 【思】 【態】	小テスト ノート 課題プリント 問題集 実験・実験レポート
11	第2章 酸と塩基	酸と塩基 水の電離とpH 中和と塩 ・中和滴定	14	(1)化学に関する語句や現象を理解している。 (2)目的に応じた定量的な計算ができる。 (3)化学の基本的概念や原理・事物の現象のしくみについて理解したものを、応用して活用できる。 (4)演習や観察、実験を意欲的に取り組みことができる。	【知】 【思】 【態】	小テスト ノート 課題プリント 問題集 実験・実験レポート グループ発表
12						
1	第3章 酸化還元反応	酸化と還元 酸化剤と還元剤 酸化還元反応の反応式 金属の酸化還元反応	13	(1)化学に関する語句や現象を理解している。 (2)目的に応じた定量的な計算ができる。 (3)化学の基本的概念や原理・事物の現象のしくみについて理解したものを、応用して活用できる。 (4)定性的・定量的な内容を使い分け、問題解決に向かって意欲的に取り組むことができる。	【知】 【思】 【態】	小テスト ノート 課題プリント 問題集 実験・実験レポート 期末考査
2		酸化還元反応の利用				

3	終章 化学が拓く世界		3	(1)化学に関する語句や現象を理解している。 (2)身近な事象と関連づけ、意欲的に取り組んでいる。 (3)日常生活における事例を考え、グループで取り組み発表できる。	【思】 【態】	ノート 課題プリント グループ発表
---	------------	--	---	--	----------------	-------------------------

4 単元テスト

期末考査の他に、各章の終了後、単元テストを予定しています。テストは記述形式で、結果は各単元の【知識・技能】・【思考・判断・表現】の観点の評価に含めます。実施日や範囲等の詳細は授業内で指示します。
--

5 その他
